

# 佐倉市議会だより



2023年4月15日  
(令和5年)

発行：佐倉市議会 編集：広報公聴委員会 〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 TEL 043-484-6254 FAX 043-486-2508  
佐倉市ホームページ <https://www.city.sakura.lg.jp/> メールアドレス [gikai@city.sakura.lg.jp](mailto:gikai@city.sakura.lg.jp)



「明神橋」(市道6-108号線、西御門)

担当部署から説明を受けながら、3月に災害復旧工事が完了した明神橋の現地視察を行いました。完了に伴い、3月13日正午に通行止めは解除となりました。



佐倉図書館等新町活性化複合施設「夢咲くら館」  
3月4日開館

一般書エリア

外観写真

児童・生徒  
選書コーナー

佐倉を学ぶフロア

あそびのひろば

## 2月定例会

会期2月20日～  
3月13日

## 令和5年度一般会計予算

### 518億3000万円

※骨格予算として編成、前年度当初予算比1.8%増

佐倉市議会は、2月20日から3月13日までの22日間、令和5年度一般会計予算の補正予算など27件の議案が提出され、審議の結果、原案のとおり可決・同意しました。議案の詳細は、5ページに掲載しています。

陳情については、JR北口ブロンズ像の佐倉市文化財指定に関する陳情など2件の議員提出議案については、「佐倉市議会規則」の一部を改正する規則の制定についてなど8件がそれぞれ提出され、審議しました。

また、一般質問には、各会派の代表質問に6人が、個人質問に8人が登壇しました。

### 各常任委員会で予算を慎重に審査

令和5年度一般会計予算、特別会計予算(6会計)、上下水道事業会計予算の議案が各常任委員会に付託され、慎重に審査を行いました。各常任委員会での審査結果及び意見等は8ページをご覧ください。

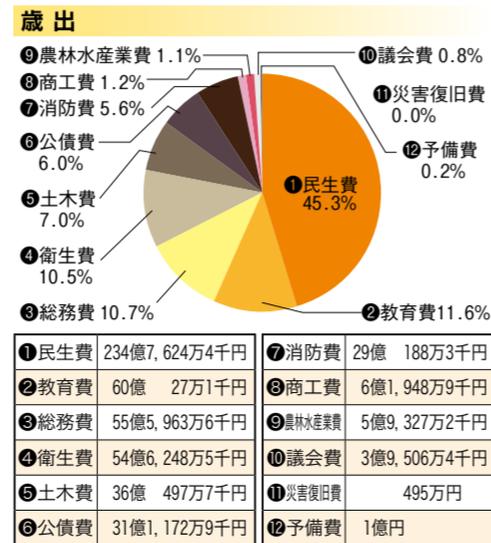
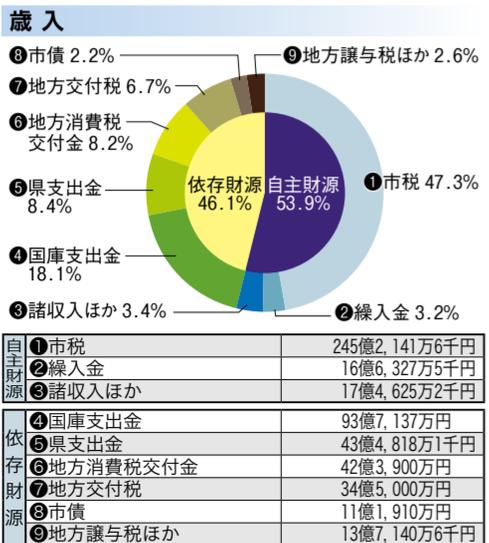
#### 令和5年度各会計の予算額 ※会計名の丸数字は議案番号

会計名	予算額	前年度比
①一般会計	518億3,000万円	(1.8%)
②国民健康保険	185億3,731万4千円	(0.5%)
③公共用地取得事業	18万1千円	(13.1%)
④農業集落排水事業	1,905万6千円	(-12.3%)
⑤介護保険	139億8,642万7千円	(2.4%)
⑥災害共済事業	503万9千円	(0.1%)
⑦後期高齢者医療	30億8,346万3千円	(1.6%)
総合計	874億6,148万円	(1.6%)

会計名	収益的収入	収益的支出
⑧水道事業会計	42億5,969万2千円	43億2,506万5千円
	資本的収入	資本的支出
	5,472万2千円	21億1,337万5千円

会計名	収益的収入	収益的支出
⑨下水道事業会計	40億8,324万9千円	37億1,818万2千円
	資本的収入	資本的支出
	2億4,090万9千円	11億2,533万1千円

#### 令和5年度当初予算 一般会計518億3,000万円の内訳



#### 主な事業(一般会計)

☆新規、◇拡充、○新型コロナウイルス感染症対策関連、●令和元年度災害復旧関連 (単位:千円)

No.	事業名称	予算額	No.	事業名称	予算額
1	ふるさとまちづくり応援寄附推進事業	42,628	30	一般廃棄物収集運搬事業	777,161
2	総合計画推進事業	7,221	31	佐倉草ぶえの丘整備事業	3,210
3	平和施策事業	4,308	32	生産性向上事業	24,832
4	住民情報システム整備事業	92,797	33	企業誘致事業	245,434
5	納税案内委託事業	16,976	34	観光イベント事業	52,213
6	個人番号カード等交付事業	40,800	35	☆観光拠点整備事業	30,133
7	市民協働推進事業	8,709	36	交通安全施設整備事業	51,000
8	コミュニティ環境整備事業	16,880	37	生活道路整備事業	184,279
9	男女平等参画推進センター事業(寄り添い支援分)	1,134	38	幹線道路整備事業	177,106
10	シティプロモーション事業	1,904	39	橋梁維持事業	113,019
11	地域公共交通対策事業	147,824	40	河川関連施設改修事業	15,517
12	公共施設包括管理事業	129,773	41	都市排水施設改修事業	101,178
13	市長及び市議会議員選挙事業	127,789	42	(仮称)佐倉西部自然公園整備事業	11,131
14	県議会議員選挙事業	43,745	43	◇佐倉城址公園整備事業	231,341
15	国民健康保険特別会計等の繰出経費(臨時)	697,828	44	ふるさと広場拡張整備事業	28,042
16	地域福祉計画策定事業	345	45	☆若名運動公園拡張整備事業	156,970
17	高齢者福祉・介護計画推進事業	3,697	46	住生活基本計画推進事業	110,062
18	おいちけんおばあちゃんありがとうの気持ちを伝えたい事業	9,253	47	消防団活動支援事業	31,555
19	施設整備推進事業	162,871	48	消防団施設等維持整備事業	97,115
20	障害者介護給付事業	2,443,340	49	小学校施設改修・改築事業	148,724
21	障害者訓練等給付事業	1,289,075	50	中学校施設改修・改築事業	56,043
22	保育所入所委託等事業	3,024,708	51	☆部活動地域指導事業	1,656
23	民間保育園等施設整備補助事業	223,806	52	第3子以降学校給食費補助事業	78,034
24	☆子育て交流センター事業	11,882	53	旧佐倉図書館跡地駐車場整備事業	160,420
25	地域医療対策事業	66,000	54	図書館機器等整備事業	75,207
26	健康危機対策事業	16,041	55	夢咲くら館管理運営事業	52,117
27	○新型コロナウイルスワクチン接種対策事業	893,992	56	☆市民音楽ホール施設整備事業	32,013
28	感染症等予防事業(定期予防接種)	626,213	57	◇美術館企画展事業	26,687
29	畜犬管理事業	1,337	58	●明神橋(6-108号線)災害復旧費	4,900

### 4月臨時会 物価高騰に対応する追加策としての給付金早期支給のため臨時会を開催

4月4日に臨時会を開催しました。議案は、低所得世帯及び子育て世帯に対する臨時特別給付事業に係る補正予算など4件で、可決・承認しました。

	給付対象	事業費
物価高騰対策臨時給付金 1世帯あたり3万円	① 令和5年度住民税非課税世帯	5億5,832万6千円
	② 令和5年度住民税均等割のみ課税世帯(市独自)	1億1,695万6千円
子育て世帯生活支援特別給付金 児童1人あたり5万円	③ 低所得のひとり親世帯等	1億7,584万4千円
	④ ③の対象外で、低所得の子育て世帯(市独自)	2,720万4千円

用語解説 ※【骨格予算(こっかくよさん)】 統一地方選挙を控えた新年度予算については、選挙後の補正予算により市長の意向を反映させた事業などを計上するため、新規の施策や政策的経費を極力抑え、経常的な経費(法令に基づく義務的経費、既存施設の維持管理費など)を中心に予算編成しており、これを骨格予算と呼んでいます。

市政に関する

一般質問

2月定例会では、2月27日から3月2日までの4日間にわたり、一般質問を行い、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。

詳細については、市役所1号館2階市政資料室・市内各図書館にて会議録(6月上旬発行予定)の閲覧、または、佐倉市議会ホームページの会議録検索システム(6月上旬配信予定)からご覧いただけます。

一般質問通告要旨

代表質問 ※は持ち時間60分、それ以外は30分。( )内は会派名

Table with 2 columns: Member Name (e.g., 為田浩, 山本英司, 久野妙子) and a list of 5 questions they asked during the session.

※上記の通告内容は、質問者から議長に文書で通告のあった内容に従い、大目のみ掲載しています。

代表質問



財政運営について

問 平成28年度から4年連続赤字の実質単年度収支が、令和2年度以降黒字となったが、どう分析しているか。

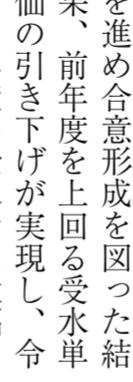
答 市長就任以来、支出の精査のみならず、財源確保に向けた工夫や研究を指示している。健全な財政運営を持続するため、今後も工夫を重ねていきたい。

水道事業について

問 市が印旛広域水道へ支払う受水費の引き下げに向け、本年度、どのような活動をし、どのような成果があったのか伺う。

答 持続可能な事業経営を維持できるよう、受水費用の抑制に積極的に取り組んできた。

代表質問

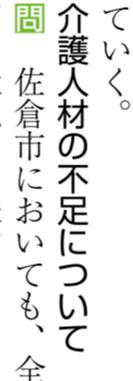


防災について

問 今後想定される首都直下型地震では、佐倉市においても震度6弱が想定されており、東日本大震災を上回る被害が予想されている。こうした自然災害から市民の安全安心を守るため、佐倉市の防災対策をどのように進めてきたか伺う。

答 過去の様々な災害の経験から、その都度、課題検証を行い、防災対策の拡充に取り組んできた。全避難所への防災井戸の整備とともに、防災行政無線を中心とした情報伝達手段の拡充を進めてきた。また、災害時応援協定による電力の確保

代表質問



介護人材の不足について

問 佐倉市においても、全国と同様、ケアマネジャーの不足が危惧されている。高齢化率が高い佐倉市でケアマネジャーの不足はとても心配だが、どのように対応していくのか。

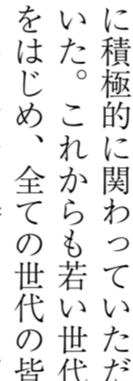
答 人材の確保や定着への支援策等について、より具体的な検討をする。併せて、市民の方々が介護保険サービス以外の身近な地域の通いの場などを利用できるように、地域の介護予防活動団体のさらなる育成を図り、通いの場の充実に努める。また、ケアマネジャーの処遇改善等についても、国、県に要望していく。

代表質問

問 今後、夢咲くら館が目指す目標などについて伺う。

答 夢咲くら館の開館に向けては、若い世代の皆さんに積極的に関わっていただきたい。これからの若い世代をはじめ、全ての世代の皆さんに愛着を持っていただける施設を目指していく。また、夢咲くら館を起点として周辺の観光資源の回遊性を高め、滞在時間の延長を図るなど消費の拡大に資する取り組みを進めていく。

代表質問

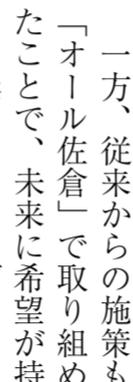


西田市政4年間を振り返って

問 これまでの4年間を振り返り、また、今後の佐倉市を見据えて、どのように考えているのか伺う。

答 市長就任以来、市民が笑顔で元気になるため、市政運営に全力で取り組んできた。気象災害やコロナ禍といった非常事態にも、一

代表質問



新型コロナウイルス感染症対策について

問 最強の変異株というXBB・1.5について、どのような状況になっているのか伺う。

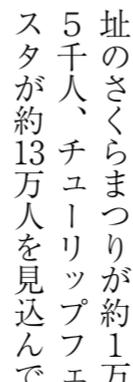
答 オミクロン株XBB・1.5は、県内では、ほとんど検出されていない。イベントの再開について、今年の春のさくらまつりやチューリップフェスタはどのように開催し、どの程度の来訪者を見込んでいるのか伺う。

代表質問

問 春の観光イベントは、感染症対策を万全に行った

答 一つ丁寧に対応し、解決への道筋をお示しできた。一方、従来からの施策も、「オール佐倉」で取り組めたことで、未来に希望が持てる魅力あるまちづくりを前進させることができた。今後も、まちづくりに全身全霊で取り組む。新型コロナウイルス感染症対策について

代表質問



南部地域活性化の取り組み

問 南部地域の人口減少、少子高齢化を喫緊の課題とする佐倉市で、市街化調整区域における開発規制条例を解除する必要があると感じているが、市の考えを伺う。

答 南部地域については、開発行為等の規制に関する条例を改正し、新規転入者の自己居住用住宅の規制緩和を平成22年度から実施している。今後も、本条例により、集落の維持を図ってまいりたいと考えている。

代表質問

問 南部地域の住民の皆さまの悲願ともいえる岩富・寺崎線の開通見込みを伺う。

答 岩富・寺崎線について、南部地域の住民の皆さまの悲願ともいえる岩富・寺崎線の開通見込みを伺う。都市計画道路3・4・

29岩富・寺崎線については、令和8年度の完成を目指し、令和3年度から用地買収に着手している。しかし、事業区間の起点と終点付近において土地の境界が確定できない、物件の権利者が特定できないといった問題があり、現在用地買収を進められない状況となっている。

**カーボンニュートラル**  
**問** ゼロカーボンシティ宣言を发出後に、佐倉市において取り組んだことはあるか。  
**答** 市環境基本計画と温暖化実行計画の見直し、ペトロボトル集積所収集の開始、市施設へのマイボトル用給水機の設置とLED照明への改修等に取り組んでいる。



**公明党 久野妙子**  
**問** 令和5年度当初予算  
**問** 公明党が要望し、これまでも繰り返し質問してきた子ども医療費助成の高校生までの対象拡大についてはどのように考えているか。  
**答** 安心して子どもを産み育てる環境の整備は、重要な施策の一つと考える。可能な限り早期に実現できるように指示している。

**行政手続きのDX推進**  
**問** 住民票等の交付手数料や施設の使用料等のキャッシュレス決済の充実に向け、どのような推進方策を考えているのか伺う。  
**答** 本庁・出先計20か所への導入を予定。クレジットカード、電子マネー、QR

コード等の決済手段について、令和5年10月から一部の窓口で運用を開始し、令和6年1月から本格運用を開始する予定。オンラインによるキャッシュレス決済の実現にも取り組んでいく。  
**問** 公明党では、「書かない窓口」の導入も要望してきた。市ではどのように考えているのか伺う。  
**答** オンライン化を進めることで、市民の利便性向上と窓口での職員負担軽減を図り、「誰もが、いつでも、どこでも、つながる市役所」を目指していく。  
**子育て応援トータルプラン 伴走型相談支援について**  
**問** どのような方法で実施されているのか伺う。  
**答** 既実施の妊娠届け出時や新生児訪問での面談と妊娠8か月頃の電話相談に加え、妊娠7か月に入った妊婦さんに産前産後に役立つ情報をまとめたチラシの送付と支援ニーズを把握するためのオンラインアンケートを開始し、妊婦さんそれぞれに合った相談を実施中。  
**市独自の不妊治療への支援**  
**問** 合計特殊出生率が低い佐倉市での支援策を伺う。  
**答** 不妊治療への費用助成について今後検討していく。  
**不登校児童生徒への支援**  
**問** SNS相談やオンラインカウンセリング、校内フリースクールのようなSSR（スペシャルサポートルーム）の設置について考えを伺う。  
**答** 相談業務では対面形態

を重視し、一人一人の悩みや実態、希望に応じた支援を行っている。中学校では、議員ご提案のSSRと同様の役割を果たす校内適応指導教室を設け、生徒の希望に応じて質問に答えたり、オンラインで授業を受けたりする等学習機会の確保と「学習したい」という気持ちの醸成に努めている。  
**問** 実態は学習支援が不足している。孤立した子どもたちが救われるよう努めていただきたい。  
**ヤングケアラーについて**  
**問** 介護者支援の相談窓口や体制整備の考えを伺う。  
**答** こども家庭課が窓口となり、関係機関と連携を密に個別支援体制に取り組む。



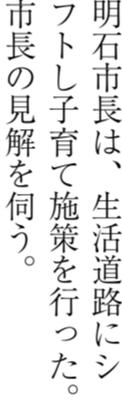
**市民ネットワーク 川口絵未**  
**問** 今後のコロナウイルス対策  
**問** 高齢者、障害者施設への県の検査キット配布や、市では現在、施設で感染者が発生した際、検査キット・マスク・エプロン等を配布している。今後コロナが5類になった際はどうか。  
**答** 重症化リスクの高い方への支援は、引き続き行う。  
**問** 5類になった場合、現在発熱外来ではない医療機関への支援が必要では。  
**答** 県が主体となり実施しているため動向を注視する。  
**子どもの医療費無償化**  
**問** 15歳になる年度まで通院1回無償または200円、薬代は無料。市は今後、対象年齢拡大を検討中とのことだが、無償化してほしい。  
**答** 現段階で実施予定ない。  
**街路樹の計画的な管理**  
**問** 場当たり的に切らずに、緑の基本計画に街路樹管理を盛り込み、安定的な維持管理を行ってはどうか。  
**答** 緑の基本計画で、街路樹の再整備の方針を定め、担当部局で施策を検討する。  
**飯野II-31号線道路新設**  
**問** 湿地が干上がるのではという声がある。絶滅の恐れのある貴重な生き物の住処をなくしてまで、道路を作るのか、市長に伺う。  
**答** Wコア構想には大型バスが回遊できる道路が必要。  
**問** 毎日の安心安全のための通学路、生活道路に、予算をつけて整備をすべき。明石市長は、生活道路にシフトし子育て施策を行った。市長の見解を伺う。  
**答** 都市計画道路建設も大事。市民要望の9割の生活道路も修繕で対応している。  
**子どもの人権を大事に**  
**問** 佐倉学道徳副読本で修身策定の西村茂樹の扱いは。改訂版では扱わない。  
**問** 市長は平成14年「西村茂樹先生の道徳的観念をしつかり味わうべき。文科省より先に市で徳育の指導要領を」と発言したが、今は。今はまったく考えない。

**日本共産党 木崎俊行**  
**旧統一協会II反社会的カルト集団の応援を受けた市長の認識。公務参加の削除を。**  
**問** 市長は旧統一教会集会

出席を公務とした。過去の判例に反社会的カルト集団での公務などという判例があったのか。  
**答** 判例は承知していない。  
**問** 市民を代表して、旧統一教会の集会で自民党の比例候補の応援演説をする、これが公権力の発動II公務とは不適当と考えないか。  
**答** 市が抱える様々な問題の解決や市政の円滑な運営、維持発展に寄与すると期待し、公務とした。  
**問** この公務は、市長給与内で行われた認識はあるか。  
**答** 公務なので給与に含まれると認識している。  
**問** 今後は旧統一教会と関わらない、の理由は何か。  
**答** 高額な献金など、社会的に問題視されている団体であり、市民の皆様にご心配やご不安を招き市政への信頼を損ねるからである。  
**問** 公務記録から削除して参加にかかった費用を返納するのが反省の帰結に必要ではないか。  
**答** 公務として判断、その考えは変わらない。  
**18歳までの医療費助成拡大に必要予算約8700万円**  
**問** 高額な教育費、物価高騰、劣悪な労働条件の下、理想的な子育ては困難。教育を受ける権利・医療を受ける権利等は、どこか家庭に生まれても等しく保障されなければならない。今まで必要予算などを明らかにしてきた。18歳までの医療費助成拡大に向けた施策の進捗状況について伺う。

**開始時期も含め、具体的な制度設計など進めている。可能な限り早い時期の実現を指示している。**  
**問** 4月以降、補助廃止どころか、値上げなのか。  
**答** 各学校がPTA代表と協議して判断している。

**各種ハラスメントを無くしたい**  
**問** ハラスメントとは、人の尊厳を傷つけ、精神的、肉体的苦痛を与える嫌がらせになる。しかし、法律の中で、パワハラを禁止するとは定められていない。  
**答** 労働施策総合推進法には、直接労働者に対して、パワーハラスメントを禁止する規定は定められていない。事業主に対し、防止対策等が義務づけられている。  
**問** 国際労働機関（ILO）195号条約「暴力とハラスメントの禁止条約」では、全てのハラスメント行為について、法令で明確に禁止し違反者に制裁を求めている。日本政府もこの採択には賛成をしている。  
**問** ハラスメントの事件が起らないようにしたい。  
**問** 障がい者の地域生活支援にグループホームの充実を  
**問** 障害者と介護認定者数の合計は何名か。  
**答** 昨年12月末時点で、合計は1万6869人。市内人口の約9・8%。  
**問** 障害者向けのグループ



**ひまわり会と市民 オンズマ**  
**問** 開始時期も含め、具体的な制度設計など進めている。可能な限り早い時期の実現を指示している。

**日本共産党 木崎俊行**  
**旧統一協会II反社会的カルト集団の応援を受けた市長の認識。公務参加の削除を。**  
**問** 市長は旧統一教会集会

出席を公務とした。過去の判例に反社会的カルト集団での公務などという判例があったのか。  
**答** 判例は承知していない。  
**問** 市民を代表して、旧統一教会の集会で自民党の比例候補の応援演説をする、これが公権力の発動II公務とは不適当と考えないか。  
**答** 市が抱える様々な問題の解決や市政の円滑な運営、維持発展に寄与すると期待し、公務とした。  
**問** この公務は、市長給与内で行われた認識はあるか。  
**答** 公務なので給与に含まれると認識している。  
**問** 今後は旧統一教会と関わらない、の理由は何か。  
**答** 高額な献金など、社会的に問題視されている団体であり、市民の皆様にご心配やご不安を招き市政への信頼を損ねるからである。  
**問** 公務記録から削除して参加にかかった費用を返納するのが反省の帰結に必要ではないか。  
**答** 公務として判断、その考えは変わらない。  
**18歳までの医療費助成拡大に必要予算約8700万円**  
**問** 高額な教育費、物価高騰、劣悪な労働条件の下、理想的な子育ては困難。教育を受ける権利・医療を受ける権利等は、どこか家庭に生まれても等しく保障されなければならない。今まで必要予算などを明らかにしてきた。18歳までの医療費助成拡大に向けた施策の進捗状況について伺う。

ホームの設置目的は。障害者が地域で生活する住まいの確保である。

日中サービス支援型グループホームの利用率が100%である。必要性が非常に高い理由は。

重度障害などへの対応が可能であることから、利用率が高い。今後は、引き続き、当事者やそのご家族の希望に寄り添った支援につながるよう努める。

国も日中サービス支援型グループホームを増やす方向であり、市もしっかり取り組んでほしい。

消防団災害出動は

1日8000円に

これまで災害出動報酬は、1回1500円だった。今回の議案が通ったら来年度は8千円とし、特別交付税はその8割の額を請求か。そのとおり。

個人質問



市長への確認事項

市長は弓道関係者と弓道場建設を約束し、私も議会で建設を要望。いまだ回答が無い。市長の考えは。

弓道場は具体的な計画に至っていない。多目的広場駐車場の雨水対策は仮補修程度だが。

砂利舗装で実施する。砂利だけではだめ。自身での確認を要望する。京成踏切内歩行者用通路拡張と時間帯通行止め検討は。

多大な費用と時間を要し拡張は困難。時間通行止めは周辺住民の同意が必要。京成からは施工可能と聞いた。近隣住民は反対していない。私が説明できない場合は、対応を願う。

西志津15自治会は、消防署や危機管理課指導で消火訓練、マンホールトイレ設置等、実のある防災訓練を実施した。追加で、避難所装備品の展示・説明、避難時の携帯品の指導を願う。

防災倉庫資機材の展示、説明をしている他、持病薬等、すぐ持ち出せる場所での保管をお願いしている。自治会単位の訓練にも指導者の派遣は可能か。

地域の実情に即し、職員を積極的に派遣している。多目的広場は応急仮設住宅建設候補地である。他の候補地や具体的な利用方法、住環境の対策を伺う。

物理的条件を備えた公共用地等を想定。建設には時間を要し、それまでは避難所等で生活いただく。想定外でしたとならな



城下町周辺地区循環バスについて

社会実証運行として、城下町周辺地区の拠点を結ぶ路線バスの運行が始まったが、1日当たりの平均乗車人数を伺う。

1日当たり約37人。

新たなバス路線としては画期的だが、1日の平均乗車人数が少ない。運行開始に当たり、市民への周知についての取り組みを伺う。

こうほう佐倉や市及び運行事業者のホームページに掲載、沿線の自治会に回覧により周知を図った。

価格設定がキロ制運賃の一般乗合自動車運送事業として運行が始まったが、運行の主な目的を伺う。

公共施設や観光施設、商業施設等を循環するバスを運行することにより、日常生活の移動手段の確保、まちなかの交流人口の増加を目指すもの。

令和5年度末で実証実験は終わるが、今後の方向性について伺う。年間を通しての乗降者数の状況や採算性等の検証を行う中で運行事業者と協議をしていく。

部活動の地域移行について

教職員、子どもたち、保護者の特徴的な声を伺う。中学校教職員へのアンケート結果では、部活動の顧問を続けたいが約36%、顧問を外してほしいが64%。子育てなど家庭事情や経験のない種目の指導に負担を感じるなどの意見あり。

また、移行に肯定的な意見が、中学1・2年生は約65%、その保護者も約83%。



スポーツ推進について

現状の先着電話予約から、

ら、ちば施設予約システムでもスポーツ施設の予約ができるようになるれば、予約の公平性が保たれると思うが、見解を伺う。

近年、インターネットを利用できる高齢者が増加していることから、令和5年度中に一部施設でのインターネット予約を開始し、その他の施設についても順次準備を進めていく。

駅前周辺でありながら、これまで整備がされていない市街化調整区域となっている駅前周辺の活性化について伺う。

市街化調整区域について

駅前周辺の拠点性を高めるため、地区計画制度等を活用し、民間主導による商業業務機能等の都市機能の立地集積を誘導していきたい。教職員の働き方改革について

教職員の働き方の課題を解決するためには、まずは教職員の業務実態調査を行うべきと考えるが、教育委員会の見解を伺う。

市独自の調査については、学校の負担を考慮現時点では実施する予定はない。抜本的な改革に注力するために、教職員の業務調査を実施していただくよう要望する。

環境整備について

地球温暖化や気候変動に対して、当事者として、子ども達の世代から意識し、今後起こり得ることへの準備が必要であることから、学校教育にESDを取り入

れることを要望する。萩原陽子 日本共産党



国の大軍拡増税方針による市政への影響

国の予算では社会保障費が1500億円削減、中小企業対策費も農業予算も減額。市財政への影響は避けられないのではないか。

地方向け補助金は大半を占める社会保障関係費とともに総額は増額となった。公的支援に係る財源措置について国の動向を注視する。急ぐべき核兵器禁止条約への参加

世界情勢が緊迫し核兵器使用の危険性が高まっている。佐倉市平和都市宣言には、核兵器を禁止すると書かれている。実現のためには、核兵器禁止条約への参加を。未来世代に豊かな農産物を

地産地消推進のため、学校給食に地産物の農産物を供給する体制はあるか。学校給食応援団の協力やJAとの連携で地産地消の推進を図っている。

市内で有機農業に取り組む生産者は何人いるか。41名と把握している。国のみどりの戦略に参加を見込む人数は何人か。

環境整備について

現在把握していないが、国の交付金を活用し有機農業に取り組み生産者や栽培面積を増やしたい。障害者福祉施策について 自立支援福祉の予算が急増しているが、グループホームの増加状況はどうか。

7年間で26施設が増加。障がい者の人権を守るため施設の質の確保が必要。加齢性難聴者への対応

認知症の予防に効果的な補聴器の購入に助成を。財源など引き続き検討。



気候変動対策について

第5次佐倉市総合計画中期基本計画の策定方針において、留意すべき事項として示されている気候変動への対応について伺う。国では、現在「緩和策」と「適応策」の2つの気候変動対策を掲げている。このうち「適応策」は、それぞれの区域の特徴に応じた適応計画の策定と気候変動影響等に関する情報の収集、整理、分析および提供、術的助言を行う拠点として「気候変動適応センター」の確保が必要である。

令和4年6月定例会において、計画策定とセンター設置について前向きに検討するとの答弁があったが、その後の検討状況を伺う。センターについては、昨年7月、設置に関する検討チームを立ち上げ具体的な検討を開始した。計画策定については、対応策の計画的な推進が重要との見識が示されているため、センターの所掌事務として整理するとともに、中期基本計画の中でも気候変動の対応について検討を進める。



**問** 生態系を活用した防災・減災、Eco-DRRについて環境省と意見交換を行ったと報告があったが、内容とメリットについて伺う。

**答** 国のEco-DRRの取り組みを普及させるためのガイドブックづくりの過程で、本市の意見が求められた。新しいノウハウが他自治体に先駆けて蓄積されることは、今後の事業展開に有利であると考えている。



宇田実生子  
ひまわり会  
市民オンブズマン

**問** 少子化対策 ミレニウムセンター内防災啓発センターの早期有効活用を求める。

**答** 昨年11月佐倉歴史館オープン。保育ステーション設置など今後の活用方針は。現時点では施設全体の有効活用の明確な方針が決定していないため、佐倉歴史館として暫定的に活用中。新町夢咲くら館開館に伴う栄町整備・活性化と当該施設での酒類提供について

**問** 栄町・京成佐倉駅南口交差点からの坂道は街灯が暗く、下校の際にも危険。

**答** 下り一方通行に歩行者の足を照らす照明新設を令和5年度に予定している。

**問** 新佐倉図書館で酒類提供を実施するの如何。

**答** 県内公立図書館併設カフェの酒類提供状況や利用者等を鑑み、総合的に判断し、提供しないこととした。コンプライアンス実践について 深く考えてほしい

通告書記載の2事業は、

コンプライアンスへの認識の甘さを示している。公文書記載ミス、新型コロナ対策費の思い込みによる事務処理誤り、旧統一教会佐倉教会開催の参院選候補者の選挙応援など、不祥事の原因为は市役所全体のコンプライアンス実践の認識の欠如と考える。市長の見解は。

**答** 職員は私を中心に、市民の要望解決のため一生懸命努力している。この問題は、担当部局が公平性、公共性、事業効果など総合的に勘案し、適切に判断した結果。今後も職員と力を合わせて、市民の皆さんのために頑張っていきたい。



五十嵐智美  
市民ネットワーク

**問** 多様性を認め合う男女平等参画社会について

**答** パートナーシップ制度は自治体独自でLGBTQカップルに対し婚姻に相当する関係の証明書を発行し様々なサービス等を受けやすくする制度。県内では市川市、習志野市等6市で導入した。佐倉市の見解は。

**問** 制度の研究を進め、市民の理解を深めるための啓発に取り組んでいく。

**答** 制度の研究を進め、市民の理解を深めるための啓発に取り組んでいく。

**問** 介護保険制度の在り方

**答** 今の計画で介護保険料の基準月額が450円も引き上げに。国は介護サービス利用料を1割から2倍の2割に引き上げようとしている。コロナ禍や物価高で収入により介護保険が利用できない高齢者の増加が懸念される。保険料・利用料の減免制度を検討すべき。

**問** 現状の制度を案内し、適切に運用している。

**答** 職員の事務手続き誤り等で国にコロナ交付金5億3千万円を返還。市民に損失を与えた。防止策としてリスクマネジメント推進室を設置。2月に事務処理誤りの発生状況等を公表した中の1件に交付金絡みのミスがあった。今回の件は基本中の基本である複数チェックが行われていなかった。この状況をどう捉えるか。

**答** 過去の取り組みが不十分。継続的にモニタリングし、実効性を確保する。



松島 梢  
市民ネットワーク

**問** 有機米の取り組みについて

**答** いすみ市や木更津市では、有機農業に取り組んでいなかった人が始めた。取り組んでいない人も対象にしないと、今後有機農業が広がらないのではないか。

**問** 実際の圃場で栽培実証実験を行い、その結果を見て有機農業に参加してみたいという流れもあると思う。

**答** 実際の圃場で栽培実証実験を行い、その結果を見て有機農業に参加してみたいという流れもあると思う。

**問** 給食無償化について

**答** 第3子以降の学校給食は、県が半額補助するため、来年度も無償化する。物価高騰等で苦しい家庭が増え

ており、一律に無償化すべき。給食無償化で食材の質が低下しないよう、有機給食とセットを進めては。

**問** 無償化は大きな財源が必要であり、他の政策を含め総合的に判断すべき。各学校の状況に応じて進められる有機農産物の導入と合わせて進めるべきではない。

**答** 無償化は大きな財源が必要であり、他の政策を含め総合的に判断すべき。各学校の状況に応じて進められる有機農産物の導入と合わせて進めるべきではない。

**問** 地域公共交通について

**答** 駅や買い物物に行きたい高齢者が、バス停から遠い、乗りたくない時間にバスがない、運転が不安で免許を返納したいが不便で手放せないと声がある。こもるより外出することで健康に過ごせる。デマンド型の乗り合いタクシーの運行が必要では。

**問** 地域公共交通網形成計画の見直しの中で検討するマンホールトイレについて

**答** 避難所の33か所に災害に備えマンホールトイレが設置済みだが地域によって偏りがある。避難所以外の公園等への設置予定を伺う。

**問** 今現在整備する予定はない。自助としてトイレ用品の備蓄をお願いする。

**問** 避難所の33か所に災害に備えマンホールトイレが設置済みだが地域によって偏りがある。避難所以外の公園等への設置予定を伺う。

**答** 今現在整備する予定はない。自助としてトイレ用品の備蓄をお願いする。

**問** 避難所の33か所に災害に備えマンホールトイレが設置済みだが地域によって偏りがある。避難所以外の公園等への設置予定を伺う。

**答** 今現在整備する予定はない。自助としてトイレ用品の備蓄をお願いする。

用語解説

【Eco-DRR (Ecosystem based Disaster Risk Reduction)】

生態系の保全や再生を通じ、防災や減災、生物多様性の保全など、地域課題を複合的に解決しようとするもので、土砂災害の防止や水源かん養を目的とした森林整備、遊水機能を有する農地の保全など、様々な自然災害を対象とした取り組み。

主な議案の概要

2月定例会

市長から提出された議案のうち、議案第1号〜第9号は令和5年度一般会計、各特別会計、公営企業会計の当初予算、議案第10号〜第15号は令和4年度一般会計、各特別会計の補正予算、議案第16号〜第25号は条例の制定、議案第26号は指定管理者の指定、議案第27号は固定資産評価審査委員会委員の選任、諮問第1号は人権擁護委員候補者の推薦に関する議案です。

議案第10号 令和4年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ11億4714万8千円を増額するもので、補正後の予算総額は、586億4677万2千円。

主な歳入は、市税、地方交付税、国庫支出金、市債などの増額。県支出金、寄附金、繰入金などの減額。

主な歳出は、感染症予防事業（定期予防接種）の減額のほか、事業執行額の確定による計数整理など。財政一般事務費、国民健康保険特別会計等への繰出経費（臨時）、保育所入所委託等事業、小・中学校施設改築・改造事業に係る事業費などの増額。

繰越明許費の補正は、白井中学校外3校トイレ改良工事など17件の追加・変更。

債務負担行為の補正は、仮想用サーバ機器賃借令和4年10月導入分（令和4年度増額分）など3件の追加・廃止。

地方債の補正は、中学校トイレ改良事業債（校舎分）など17件の追加・変更。

議案第17号 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

国の基本指針等の内容を踏まえ、鳥獣被害対策実施隊員の報酬を月額6千円から5千8百円に引き上げるものなど。

※令和5年4月1日施行

議案第18号 一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

千葉県人事委員会勧告に準拠し、55歳以上の一般職職員の定期昇給に係る経過措置を廃止するものなど。

※令和5年4月1日施行

議案第25号 佐倉市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

都市公園内に設置された有料施設の利用状況を踏まえ、利用者の利便性の向上を図るため、その供用期間等を改めるもの。

※令和6年4月1日施行

議案第26号 指定管理者の指定に関する条例の制定について

第二寺崎学童保育所の指定管理者として、令和5年4月1日から令和6年3月31日まで、社会福祉法人愛光を指定するもの。

4月臨時会

議案第1号 令和5年度佐倉市一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ8億7833万円を増額するもので、補正後の予算総額は、527億833万円。

令和5年3月28日の閣議において、低所得世帯への支援等のため、国の予備費の使用が決定されたことに伴い、当該予備費において創設された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（重点交付金）の「低所得世帯支援枠」等を活用した低所得世帯及び子育て世帯への支援について、早急に事業着手する必要があるため、補正予算として計上するもの。

歳入は、国庫支出金及び繰入金の増額。

歳出は、物価高騰対策臨時給付金支給事業及び子育て世帯生活支援特別給付金支給事業の増額。

繰越明許費は、子育て世帯生活支援特別給付金支給事業（市独自給付分）の設定。

# 令和5年2月定例会 議案賛否一覧

議決結果欄  可決  否決  同意  不採択  
 賛成  反対  議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会											公明党				自由民主 さくら				市民ネット ワーク			ひまわり会 と市民オン ブスマン		日本 共産党		会派に 属さない議員					
			No.9	10	16	17	18	22	23	24	27	28	7	8	25	26	5	6	14	15	1	2	19	4	21	13	20	3	11	12				
			密本成章	岡野敦	斎藤明美	敷根文裕	高木大輔	平野裕子	爲田浩	石渡康郎	櫻井道明	中村孝治	押木孝和	鍋田達子	久野妙子	岡村芳樹	齋藤寛之	石井秀明	徳永由美子	山本英司	松島梢	川口絵未	五十嵐智美	宇田実生子	藤崎良次	木崎俊行	萩原陽子	高橋とみお	稲田敏昭	玉城清剛				
<b>市長提出議案</b> ※白抜き数字は諮問番号																																		
1	令和5年度佐倉市一般会計予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	令和5年度佐倉市国民健康保険特別会計予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	令和5年度佐倉市公共用地取得事業特別会計予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
4	令和5年度佐倉市農業集落排水事業特別会計予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	令和5年度佐倉市介護保険特別会計予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
6	令和5年度佐倉市災害共済事業特別会計予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
7	令和5年度佐倉市後期高齢者医療特別会計予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
8	令和5年度佐倉市水道事業会計予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
9	令和5年度佐倉市下水道事業会計予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
10	令和4年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
11	令和4年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12	令和4年度佐倉市公共用地取得事業特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
13	令和4年度佐倉市介護保険特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
14	令和4年度佐倉市災害共済事業特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
15	令和4年度佐倉市後期高齢者医療特別会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
16	佐倉市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
17	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
18	一般職職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
19	佐倉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
20	佐倉市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
21	佐倉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
22	佐倉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
23	佐倉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
24	佐倉市地域公共交通会議条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
25	佐倉市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
26	指定管理者の指定について（第二寺崎学童保育所）	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
27	固定資産評価審査委員会委員の選任について（廣瀬 健仁（ひろせ・たけひと）氏）	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	人権擁護委員候補者の推薦について（中村 真理（なかむら・まり）氏）	同	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
<b>陳情</b> ※白抜き数字は陳情番号																																		
12	JR北口ブロンズ像の佐倉市文化財指定に関する陳情	不	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
13	第40回佐倉マラソン大会の不備に関する陳情	不	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
<b>議員提出議案</b> ※数字は発議案番号																																		
1	佐倉市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	防衛力増強より平和外交に力を尽くすよう求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
5	物価高騰から市民の暮らしと営業を守るための抜本的な対策を早急に講じるよう求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
6	日本学術会議の独立性を奪う政府方針の撤回を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
7	2023年度防衛予算の抜本的見直しを求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
8	「原発運転60年超」を認める規制制度改悪の撤回を求める意見書	否	×	×	×	×	議	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

# 令和5年4月臨時会 議案賛否一覧

議決結果欄  可決  承認  賛成  議長

議案番号	議案名	議決結果	さくら会											公明党				自由民主 さくら				市民ネット ワーク			ひまわり会 と市民オン ブスマン		日本 共産党		会派に 属さない議員				
			No.9	10	16	17	18	22	23	24	27	28	7	8	25	26	5	6	14	15	1	2	19	4	21	13	20	3	11	12			
			密本成章	岡野敦	斎藤明美	敷根文裕	高木大輔	平野裕子	爲田浩	石渡康郎	櫻井道明	中村孝治	押木孝和	鍋田達子	久野妙子	岡村芳樹	齋藤寛之	石井秀明	徳永由美子	山本英司	松島梢	欠員	五十嵐智美	宇田実生子	藤崎良次	木崎俊行	萩原陽子	高橋とみお	稲田敏昭	玉城清剛			
<b>市長提出議案</b>																																	
1	令和5年度佐倉市一般会計補正予算	可	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	専決処分の承認を求めることについて（佐倉市税賦課徴収条例の一部を改正する条例）	承	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	専決処分の承認を求めることについて（佐倉市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	専決処分の承認を求めることについて（佐倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



議案に対する会派等の意見

つくりかた

議案第1号 令和5年度佐倉市一般会計予算、議案第2号 令和5年度佐倉市特別会計予算、公営企業会計予算に賛成

令和5年度佐倉市一般会計予算については、4月の市長選を踏まえ、義務的経費などの経常的経費を中心とした、いわゆる「骨格予算」として編成された。

さらに、これらの事業を実施するための財源として、国庫支出金・県支出金といった特定財源の確保はもとより、地方債や各種基金の積極的活用、ネーミングライツといった新たな歳入増加策も取り入れるなど、持続可能な財政運営の堅持にも努めた予算編成であったと高く評価し、議案第1号に賛成する。

また、アフトーコロナを見据えた中長期的なまちづくりについては、佐倉城址

公園の整備、佐倉ふるさと広場などの整備・拡充、古民家活用に向けた修繕・耐震化工事や、旧佐倉図書館跡地を駐車場にする工事など、「観光Wコア構想」の実現に向けた取り組みのほか、夢咲くら館に設置された、「子育て交流センター事業」や、今年1月から県と協調して実施されている「第3子以降学校給食費補助事業」など、子育て世帯の定意識を高める取り組みも計上されていることを確認した。

また、各特別会計並びに公営企業会計についても、適正な予算措置がなされていると判断し、議案第2号から第9号に賛成する。

公明党

議案第1号 令和5年度佐倉市一般会計予算に賛成

骨格予算とはいえ過去最大の予算規模であり、会派として次の2点を重視したうえで、慎重に審議した。1点目、必要な対策への対応として、引き続きの「新型コロナウイルス感染症対策」「防災・減災への対策」「通学路の安全・安心に向けた対策」等に予算措置がされているか。2点目、昨年10月3日に公明党会派から市長に提出した「令和5年度予算編成に関する政策要望書」は、市民の皆様の小さな声を拾い上げたものであり、これに見合った予算編成がされているか。

歳入は、景気回復を見込んだ税収増や、地方財政対策を勘案した地方交付税の増収等から、過去最大の予算規模の歳入が計上されており、今後、実質単年度収支が再び赤字の連続となる

自由民主党

議案第1号令和5年度佐倉市一般会計予算は、経常的経費が約15億円増加し、改選後に見込む政策的経費は約9億円と、決して規模は大きくない。改選後は、18歳までの医療費助成の拡充など子育て世代に寄り添った政策を、限られた財源の中で実現していただきたい。

特別支援教育推進事業では、主任看護師の職務が追加され、医療的ケア児も小中学校に通えれば、保護者だけでなく、共に学ぶ児童生徒にも好影響になる。シティプロモーション事業では、観光Wコア構想の一つ、古民家の有効活用を行い、観光イベントを積極的に推し進め、交流人口と観光消費額の増額に尽力を。ゼロカーボンシティ実現に向け、積極的に予算確保を行い、できることを着実に実行していただきたい。啓発活動も重要であり、教育委員会と協力し、環境教育ESDの導入を要望する。議案第8号佐倉市水道事業

市民ネットワーク

反対する主な理由 議案1号・10号①新佐倉図書館整備リセットを掲げ当選した市長は、地下を拡充。市民意見を取り入れず、土地購入・整備を一方的に進め総事業費約37億5千万円を投入。②飯野II-31号線用地購入費総額12億8千万円。山林だが5389円/mで大変割高。隣接の生態系保全区域への影響が甚大と考える。現状の道路で対応可能。③ふるさと広場拡張整備は総事業費約13億4千万円。市民意見の反映なく事業内容を決め進めており、非常に問題。④マイナンバーカード交付申請増による委託。国の目的は、健康保険証、運転免許証等カードに紐づけられた情報を民間事業者へ提供し、利活用するため。⑤子宮頸がん(HPV)ワクチンの定期接種は重篤な副反応が増す可能性あり。⑥スマートオフィスプレイスは民間事業者に丸投げ。⑦水源確保事業、霞ヶ浦導水から撤退を。

会計予算は、給水収益の減少や電気料金の値上げなどの影響により、大変厳しい経営状況だが、水道施設の耐震化を着実に推進する予算となっていることは評価する。引き続き、水道事業の経営基盤強化とともに、安心・安全で災害に強い水道への取組を期待する。

ひまわり会と市民オンブズマン

議長専用車廃止などの要望を添え 議案1号に賛成

①議長専用車は、他の特別職公用車に比較し、使用頻度が低い。庁用車などへの利用転換を求め。②白井交番の駅前移転は、市民も待ち望んでいる。移転後の水道道路沿い跡地の有効利用にも期待する。③社会の高齢化が進み、要介護者や障がい者の合計人口比率が市民の約10%と上昇し、障害の程度も重くなっている。佐倉圏域の相談支援事業所、日中サービス支援型グループホーム増設、入院可能な精神科病院の実現などの福祉対策に取り組んでいただきたい。

日本共産党

議案第1号、第10号に反対

健康保険証の廃止を強行しマイナンバーカードの取得率を上げる国の手法は強権的で民主主義に反するため、関連予算に反対する。納税催告業務を委託し税収増を見込むが、市民の暮らしに寄り添った対応を行うのが市の役割。徴税は職員が丁寧に対応すべき。草ぶえの丘へのバイパス道路飯野II-31号線は100メートルに1億円で、見直しが必要。議案第26号学童保育所の指定管理に反対 学童の安全と健全な育成に責任を持って当たるために指導員の確保や待遇改善が必要で、市が直営すべき。

会派に属さない議員

議席3番 令和5年度予算のいわゆる敬老事業に約920万円。

ほぼ例年通りの規模だが、高齢者福祉という側面では、一人暮らしの高齢者予算や認知症対策等、今後さらに深刻化する多くの事業がある。限られた予算の優先順位として、本事業が最優先なのか見極める必要がある。

議席11番 佐倉市は「悲惨な紛争や戦争のない世界を強く願ひ、軍縮の推進はもとより、核兵器の全面禁止と廃絶をめざして、最大の努力をしなければなりません」と平和都市宣言をしている。抑止論で防衛費増ではなく、今こそ平和憲法を活かすときだ。発議案全て賛成。

議席12番 自治会活動が衰退している中、コミュニティ環境整備事業は重要である。仮に、自治会活動が半減した場合、市政の痛手は想像を絶する。補助率の上乗せと市民目線の対応が重要課題である。

※議席番号と議員名の確認は6ページの議案賛否一覧をご覧ください。

# 委員会報告

※議案は市長提出議案 ○委員長 ○副委員長

## 総務常任委員会

開催日：令和5年3月6日／場所：第三委員会室

### 《審査結果》

議案1	議案2	議案3	議案6	議案7
可決	可決	可決	可決	可決
議案10	議案11	議案12	議案14	議案15
可決	可決	可決	可決	可決
議案16	議案17	議案18	議案19	議案20
可決	可決	可決	可決	可決

議案15件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・ネーミングライツは、新たな財源として大変有効と考えることから、さらなる対象施設の拡充について関係課と協議、検討をしていただくとともに、地方債の活用に当たっては、地方交付税措置が見込めるものを活用するなど一般財源の支出抑制に努め、財政の健全化につなげていただきたい。

〔委員〕◎久野妙子、○徳永由美子、宇田美生子、稲田敏昭、玉城清剛、敷根文裕、中村孝治



最終日の委員長報告

## 文教福祉常任委員会

開催日：令和5年3月7日／場所：第三委員会室

### 《審査結果》

議案1	議案5	議案10	議案13	議案21
可決	可決	可決	可決	可決
議案22	議案23	議案26	陳情12	陳情13
可決	可決	可決	不採択	不採択

議案8件、陳情2件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・地域共生社会の構築には、地区社会福祉協議会をはじめとした現場で活動する団体の協力が必要不可欠であることから、部局間の連携を密にするとともに、団体への支援の強化に努めていただきたい。
- ・介護保険制度については、今後も厳しい状況が見込まれているが、介護給付費適正化事業の推進等の取り組みを進め、介護保険制度の信頼性を高めるとともに、介護給付費の増大や介護保険料の上昇を抑制し、持続可能な介護保険制度を構築していただきたい。

〔委員〕◎平野裕子、○斎藤明美、川口絵未、高橋とみお、石井秀明、押木孝和、藤崎良次



最終日の委員長報告

## 経済環境常任委員会

開催日：令和5年3月8日／場所：第三委員会室

### 《審査結果》

議案1	議案4	議案10
可決	可決	可決

議案3件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・観光拠点整備事業については、民間事業者による古民家のトライアルサウンディングなど、新町地区の活性化へ向けた取り組みを推進するとともに、印旛沼周辺地区における施設整備事業を着実に実施し、観光Wコア構想の実現に努めていただきたい。
- ・地球規模の課題である気候危機に対して、佐倉市では令和3年8月18日にゼロカーボンシティ宣言をしており、引き続きその実現に向けた取り組みを推進していただきたい。

〔委員〕◎岡村芳樹、○岡野 敦、松島 梢、齋藤寛之、高木大輔、萩原陽子、櫻井道明



最終日の委員長報告

## 建設常任委員会

開催日：令和5年3月9日／場所：第三委員会室

### 《審査結果》

議案1	議案8	議案9	議案10	議案24
可決	可決	可決	可決	可決
議案25				
可決				

議案6件について審査し、その結果は左表のとおりです。

なお、審査の過程において、次のような意見が出されました。

- ・通学路の安全対策を含む交通安全施設整備にあたっては、子どものみならず、高齢者や障害者も安心して街を歩けるよう、引き続き整備を進めていただきたい。
- ・都市排水施設は、豪雨等の浸水被害から市民の生命・財産を守る大切な設備であると認識している。今後、気候変動に伴う災害の激甚化・頻発化が予想されることから、引き続き計画的な整備に努めていただきたい。

〔委員〕◎爲田 浩、○密本成章、鍋田達子、木崎俊行、山本英司、五十嵐智美、石渡康郎



最終日の委員長報告

## アンケート結果を報告します

佐倉市議会では、平成23年より市民との意見交換会等を開催しております。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、市内保育園等を利用されている保護者を対象に「コロナ禍における子どもの実態把握に向けた調査」をインターネットアンケートにより実施しました。

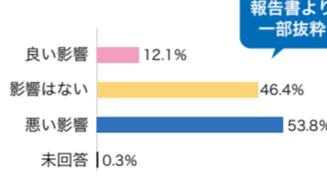
集計結果をまとめた報告書は、市議会ホームページに掲載しているほか、市内図書館等に配架しています。ぜひご覧ください。



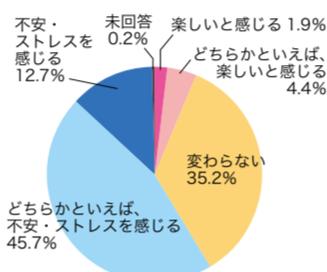
アンケート集計結果▶



問6 新型コロナの影響で保育施設等利用施設の休園外出自粛要請でお子さんの心身にどのような影響がありましたか。(複数回答可)



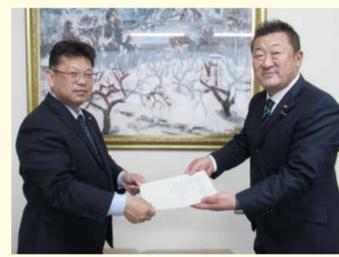
問9 新型コロナ流行後、以前と比べて子育てへの感じ方等に变化がありましたか。(単一回答)



回答者数 1,391名

報告書より一部抜粋

## 議会だよりをリニューアル!



議長室にて：左から高木議長、爲田委員長

広報公聴委員会では「市民の皆さまに手に取ってもらえる議会だより」作成のため、紙面構成などの検討を重ねております。

このたび、議会だよりの横書き化を決定し、来期広報公聴委員会に申し送るため、議長に報告をしました。

今後も皆さまからのご感想をお待ちしています。

## 次回の市議会開催日程は未定です

定例会の日程は、統一地方選挙後の5月下旬に決定する予定ですので、市議会ホームページをご覧くださいか議会事務局までお問い合わせください。

(議会事務局)  
☎ 043-484-6254

議会ホームページ▶

新型コロナウイルスの3年以上にわたる影響は、経済をはじめとする市民の暮らし全般に及び、子どもたちへの計り知れない影響は、議会が行った保護者へのアンケートにも表れていた。それぞれの年齢で体験することを取り戻すことはできないが、議会としてできることは何かを考えて、子どもたちの未来に役立つ施策の提言ができればよいと思う。

(広報公聴委員 萩原陽子)

発行までの編集会議では議論百出の末、ようやく結論を得るということが間々ありました。多数決ではなく、議論を尽くすことの重要性を再認識する委員会でした。情報発信として、議会だよりで議員の賛否や紙面拡充等を行ってききましたが、今後は常任委員会等のSNSでの発信に取り組み、開かれた議会にする必要があると考えます。

(広報公聴委員 五十嵐智美)

## 議会百景

市内の郵便局、20局に協力をいただいで、今年度より『市議会だより』も配架しております。市議会だよりの紙面のレイアウトについては、横書きへと協議を重ねています。情報伝達には、さらなる工夫と配慮が必要であると考えます。これからは市民の皆さまの心に寄り添って、さらに身近な市議会へと全力を尽くして取り組んでまいります。

(広報公聴委員 斎藤明美)